

DREAM

夢があるから遠くなる

2008年 10月1日発行

社団法人 熊本県サッカー協会だより 第67号
発行者

社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会
事務局

〒860-0831 熊本市八王寺町 9-60

096-334-5565 平日午前9時～午後6時

<http://kumamoto-fa.com/>

KFA NEWS

2008 Autumn

社団法人熊本県サッカー協会は、熊本県内のサッカー・フットサル・ビーチサッカーを統括し、普及振興を図ることを目的とした団体です。



JFA 2008 JFAフットボールデー 2008 supported by KIRIN



JFA フットボールデー開催

サッカーファミリー拡大へ初開催

JFA フットボールデー 2008 supported by KIRIN / adidas が9月15日、熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)で開催された。大雨が降りしきる中、650名を超える来場者があった。ロアッソ熊本やなでしこリーグのルネサンス熊本の選手らもイベントに参加。来場者全員に9月23日のロアッソ vs 横浜FCのチケットがプレゼントされた。「JFA チャレンジゲーム」の

コーナーでは、Jリーグやなでしこリーグで活躍する選手がデモンストレーションを披露。子どもたちは真剣な表情でボールさばきを見つめ、さっそくトライしていた。

ロアッソ熊本の選手らは、子どもたちからのサインにも応じていた。

「全国高校選手権熊本県大会」の抽選会に参加した高校生によるリフティング大会は、せまい

室内の限られたスペースで長く続けることを競い、さながら大会の前哨戦の様相となった。

熊本ライオンズクラブとのタイアップ企画「カンボジアにサッカー用品を贈ろう」では、呼びかけに応じて多数のタンスに眠っていたサッカー用品が持ち寄られた。後日、同クラブがカンボジアに建設している学校の子どもたちの元へと届けられる。ロアッソ熊本からも多数のサッ

カー用品の提供があった。

このイベントは、サッカーファミリー拡大を目指すJFAと全国の都道府県協会が協力し、今年度初めて実施。熊本県協会では、審判委員会、技術委員会、医科学委員会を含めた全ての委員会の役員が企画から加わり、サッカーをやっていない人も楽しめるイベントを準備してきた。来年度以降も引き続き開催される予定となっている。

賛助団体会員

株式会社 瑞恵 株式会社 プレナス 昌和機械工業所

スキルアップスクール 九州警備保障株式会社 クーバー・コーチング

From 会長 BLOG

J F A ・ 47 都道府県協会

訪問会議

井籾会長がサッカーをはじめスポーツをめぐるさまざまな出来事や日々感じたことをつづるブログ、「Old Dreamerの戯言」が2008年2月スタート。この紙面上では、その一部を紹介します。



毎年行われるこの会議、2008年の今年は8月15日に全国のトップをきって熊本で行われた。熊本のサッカー関係者、さらに他競技の方々にも紹介する事で、今後役に立てて欲しい。

この会議の特徴は、タイトルにあるごとくJFAが47都道府県協会を訪問する事にある。

その目的は、

- ◎都道府県協会の役員がJFAの方向性について、更に理解を深める。
- ◎JFA職員が、都道府県の意見・状況を把握し、理解を深める。
- ◎会議出席者の双方で共通のテーマについて話し合い、課題の解決にやるべき事を洗いだす。

JFAの方向性は、2005年に宣言した「2015年世界のトップ10」に向けたROAD MAP、つまり道筋について『すそ野を広げ、育成の土台を堅固にし、総合力を高めることで、頂上を高くす

る』で、頂点強化では「世界に肩を並べるための課題の抽出」を底辺の主軸を「キッズ、U-12に対する取り組み、JFAアカデミー」等の都道府県レベルの課題の意見交換があった。

その中で、ロードマップの作成に対し『現実の体制からではなく、目指す姿からの逆算』、また目標達成に不可欠の体制の改革については『各種別、連盟等だけの改革では限界がある』と部門間を超えた総合的視野での改革の示唆を受けた。

この点については、熊本県協会も組織の肥大化、細分化による、意思の疎通やセクショナリズムによる弊害が散見される部分もあり、JFAが目指す2015年への頂点強化に歩調を合わせ、競技力向上を主軸に、協会体制の改革が求められていると思った。キッズやアカデミー、そしてロアッソ支援はルーチンワークだと位置づけた上で。

(2008年8月26日掲載)



井籾会長ブログ

Old Dreamerの戯言

会長自らの言葉でつづるブログ
随時更新中!

<http://kumamoto-fa.com/dreamer>

郡市協会 リレートーク

地域に根ざした特色のある活動を展開する郡市協会。リレー形式で各協会の現状を紹介していただきます。

① NPO 法人 菊池市サッカー協会

<http://www.npokikuchisoccer.com/>

当協会は、昭和58年菊池市体育協会加盟以来一貫して、サッカーを通した「人づくり」「町おこし」を念頭におき活動を行ってきた。途中サッカー人口の激減等幾多の困難はあったものの、それを乗り越え今日に至っている。

平成11年には、市町村合併を想定し、菊池・旭志・七城のサッカー協会が合併し、菊池北部地域サッカー協会を発足させた。また、平成18年には、新菊池市発足に伴い、先の3市町村に泗水

を加え、NPO法人菊池市サッカー協会を発足させた。協会自体の法人化については、様々な意見があったが、「公的な顔を持ち、地域に貢献しよう。」ということで、多くの困難はあったものの発足にこぎつけた次第である。

現在理事数17名で菊池市一円をカバーし、少しでも当協会が理想とするサッカーによる「人づくり」「町おこし」に一步でも近づくよう地道な活動を続けているところである。



平成 20 年度国民体育大会第 42 回九州ブロック大会（財団法人日本体育協会・九州サッカーほか主催）は 7 月 21 日まで、宮崎市で行われた。熊本県は全部門で大分国体への出場を逃した。少年男子のリーグ戦、熊本県選抜は 1 勝 2 敗とし 4 チーム中 3 位。ノックアウト方式の成年男子と女子は、ともに福岡県に敗れ 1 回戦敗退。

試合結果

国体九州ブロック大会

少年男子（リーグ戦）

熊本県 0-1 長崎県

熊本県 2-1 福岡県

熊本県 1-2 佐賀県

※熊本県は 4 チーム中 3 位

※福岡・鹿児島・佐賀が代表権

成年男子

熊本県 1-3 福岡県

※宮崎・沖縄・鹿児島が代表権

女子

熊本県 0-3 福岡県

※福岡・鹿児島・佐賀が代表権

National Sports Festival 国体

全部門代表権を逃す

九州ブロック大会

Category 2

高校



JFA 釜本名誉副会長ら講演

高校 1 年生大会開会式

第 29 回熊本ライオンズカップ 熊本県高校 1 年生サッカー大会（県サッカー協会・熊本ライオンズクラブ・熊本県高体連主催）の開会式が 8 月 4 日、グランメッセ熊本で行われ、熊本ライオンズクラブ結成 50 周年を記念し、JFA 釜本名誉副会長などの講演会も行われた。今回の講演会は、C 級コーチのリフレッシュ研修会を兼ねており、約 40 名の参加があった。



インターハイ大津高校ベスト 4

平成 20 年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技出場熊本県代表大津高校は 8 月 3 日、千葉県代表市立船橋高校と対戦。ペナルティキック方式まで持ち込まれ、3-4 で敗れた。大津は惜しくも準決勝敗退。

高校 1 年生チャンピオンはルーテル

第 29 回熊本ライオンズカップ熊本県高校 1 年生サッカー大会の決勝が 8 月 10 日、熊本県民総合運動公園補助競技場で行われた。ルーテル学院高校が大津高校を 1-0 で下し、優勝した。



Category

1

社会人・学生

ヴァンクール 7位

九州リーグ

2008年度九州サッカーリーグは全日程が終了。ヴァンクール熊本は、6勝11敗1PK勝の7位。優勝は沖縄かりゆしFC。

順位	チーム名	勝点	得失点差
1	沖縄かりゆしFC	47	40
2	V・ファーレン長崎	46	66
3	ホンダロック	46	48
4	新日鐵大分	34	23
5	ヴォルカ鹿児島	28	3
6	海邦銀行SC	21	-26
7	ヴァンクール熊本	20	-48
8	九州 INAX	15	-33
9	三菱重工長崎	9	-40
10	OSUMI NIFS	4	-33



第43回熊本県サッカーリーグが開幕。今年度は145チーム、約3400名が参加。15ブロックに分かれたリーグ戦は12月まで行われ、1部優勝チームは九州リーグ昇格をかけて九州大会へ出場する。



35歳以上の初代王者に

第1回九州社会人ミドル(O-35)大会

第1回九州社会人ミドル(O-35)サッカー大会が8月2日・3日の両日、宮崎県西都市清水台総合公園で行われ、熊本県選抜が優勝した。この大会は、35歳以上の各県選抜チームがノックアウト方式で対戦するもので、今年度初めて開催された。

試合結果

九州ミドル O-35

準決勝

熊本県 1-0 佐賀県

決勝

熊本県 0-0PK4-2 佐賀県



熊本FCが優勝

クラブチーム選手権熊本県大会

RKKカップ争奪 第15回全国クラブチームサッカー選手権熊本県大会は8月13日、益城町陸上競技場で準決勝と決勝が行われ、熊本FCがダイナマイツ八代を延長戦の末下し、優勝した。

試合結果

クラブチーム選手権県大会

決勝

熊本FC 1-1 延 1-0
ダイナマイツ八代



ブレイズが九州大会へ
全日本ユース県大会

Category
3
中学校
クラブユース

ロアッソ
予選リーグ敗退

日本クラブユース (U-15)

第23回日本クラブユース選手権 (U-15) 大会が、8月8日から福島県のJヴィレッジで行われ、九州代表 (4チーム) として初出場のロアッソ熊本は、予選リーグ1分2敗の4位とし、グループ上位2位までの決勝トーナメント進出を逃した。

試合結果

県中体連大会

決勝

山鹿中 2-1 出水中

九州中学校

1回戦

出水中 2-1 西中 (宮崎県)

日章学園中 (宮崎) 2-0 山鹿中

※山鹿中は1回戦敗退

準々決勝

出水中 1-0 彼杵中 (長崎県)

準決勝

出水中 3-0 重富中 (鹿児島県)

決勝

出水中 3-0 日章学園中

※上位5チームが全国大会へ

全国中学校

1回戦

出水中 0-0PK1-4 埼玉栄

日本クラブユースU-15

予選リーグ

ロアッソ熊本ジュニアユース

0-6 横浜F・マリノス

ジュニアユース追浜

ロアッソ熊本ジュニアユース

2-2 岩田FC

ロアッソ熊本ジュニアユース

1-3 FC東京U-15むさし

高円宮杯U-15県大会

決勝

ブレイズ 1-1PK4-2 ルーテル

全日本少年決勝大会

予選リーグ

バレイア 5-0 川内南 (徳島県)

バレイア 1-0 就將SC (鳥取県)

バレイア 0-0

川崎フロンターレ (神奈川県)

バレイア 4-1 矢倉FC (滋賀県)

バレイア 1-10 柏レイソル

2008年度高円宮杯全日本ユース (U-15) サッカー選手権熊本県大会は23日、熊本県民総合運動公園補助競技場で決勝が行われた。ブレイズ熊本がルーテル学院中の対戦は、1-1の同点

のまま延長戦でも決着がつかず、ペナルティキック方式の4-2でブレイズが優勝。ブレイズは、10月11日から熊本県内で開催される九州大会へ出場する。

Category
4
ジュニア

バレイア惜しくも
予選敗退

全日本少年決勝大会

第32回全日本少年サッカー大会は、8月3日から福島県のJヴィレッジで決勝大会行われ、熊本県代表バレイアSCは3勝1敗1分とし、グループ3位。勝点で川崎フロンターレと並んだものの、得失点差で及ばず、惜しくも決勝トーナメントへの出場を逃した。

出水中が九州大会優勝
県大会は山鹿中が制す

中学校大会



平成20年度九州中学校体育大会サッカー競技は8月6日・7日の両日、島原市営平成町多目的広場でサッカー競技が行われた。熊本県代表出水中が優勝、山鹿中は1回戦で日章学園に敗れた。出水中は、8月20日から長野県松本市で行われた全国大会へ出場し、1回戦敗退。

Women 女子



MELSA 熊本アマールが優勝

県女子選手権

第27回熊本県女子サッカー選手権大会は9月14日・15日、菊池市七城運動公園などで開催。MELSA 熊本アマールが2年ぶり3度目の優勝。準優勝の熊本ユナイテッドSCフローラとともに、鹿児島県で10月に開催される、九州女子選手権に出場する。

県女子選手権

決勝

MELSA 熊本アマール 2-0 熊本ユナイテッドSCフローラ

MELSA 熊本優勝

女子ユース U-18



女子ユース U-18

決勝

MELSA 熊本 FC 4-0

熊本ユナイテッド SC

第12回熊本県女子ユース(U-18)サッカー選手権大会は、7月12日・13日の両日、大津町運動公園球技場などで県内8チームが出場して行われ、MELSA 熊本FCが初優勝を果たした。同チームは、11月8日・9日に鹿児島県にて開催される第12回九州ユースサッカー選手権大会に出場する。

大津マリノス九州6連覇逃す

全国レディース予選

第20回全国レディースサッカー熊本県大会は6月29日、大津町運動公園陸上競技場で行われ、大津マリノスが2戦2勝で、6年連続6度目の優勝。

9月6日・7日に福岡県にて開催された九州大会では、準決勝で大分県の中津ポマトにペナルティキック方式の未敗れ、第3位。上位2チームに与えられる全国大会出場権を得られず、九州大会の連覇は5で止まった。



熊本ユナイテッド エーマ優勝

女子ユース U-12

第18回熊本県女子ユース(U-12)サッカー選手権大会は、9月20日・21日、合志みずき台グラウンドにて開催。予選リーグ上位チーム4チームによる決勝リーグを行い、熊本ユナイテッドSCエーマが優勝。準優勝のルネサンス熊本FCジュニアとともに、12月に沖縄県で開催される九州大会に出場する。

Kids キッズ

山鹿市で初開催

JFA キッズフェスティバル

JFA キッズサッカーフェスティバルが4日、山鹿カルチャーセンターで行われた。県サッカー協会主催、財団法人日本サッカー協会後援、NPO 法人熊本県キッズサッカー協議会協力。年中から小学校3年生の5部門と、ガールズ、ママ



さんの部が設けられ、計310チーム、約3500人の子ども達がサッカーを楽しんだ。

Beach ビーチ

第3回全国ビーチサッカー大会2008九州予選は6日・7日の両日、芦北町御立岬海水浴場で行われ、熊本県代表エスターテは4位となり、惜しくも全国大会出場を逃した。優勝は沖縄県代表のレキオスFC。開催県枠のアンセムは予選リーグ敗退。



全国ビーチ九州予選

3・4位決定戦

エスターテ 2-4

クラブアトレチコ(大分県)

エスターテ惜しくも4位

全国ビーチ大会九州予選

イベント案内

2008年10月～12月

Jリーグディビジョン2

ロアッソ熊本 ホームゲーム

vs 徳島ヴォルティス
第39節 10月5日(日) 13:00
熊本県民総合運動公園陸上競技場 (KKWING)

vs FC岐阜
第41節 10月26日(日) 13:00
熊本市水前寺競技場

vs サンフレッチェ広島
第44節 11月30日(日) 13:00
熊本県民総合運動公園陸上競技場 (KKWING)

がんばれ！ロアッソ熊本

「ロアッソ熊本の支援」は、KFAの2008重点目標のひとつです。
ロアッソ熊本募金(体協100円募金)などを通じて、熊本の
プロサッカーチームを応援しています。

第20回九州ユース(U-15)サッカー選手権大会

熊本県民総合運動公園サッカー場などで10月11日～13日開催
上位4チームが全国大会へ出場

第87回全国高等学校サッカー選手権熊本県大会

決勝は熊本県民総合運動公園陸上競技場 (KKWING) で11月15日13時5分キックオフ(準決勝以降有料)

【審判】認定講習会

サッカー3級審判認定講習会

大津町運動公園球技場会議室にて、10月19日(日)開催。受講料6,000円。先着30名。10月14日締切。JFAのウェブサイト「Kickoff」上で申込・支払を行うこと。

サッカー3級審判インストラクター認定講習会

大津町運動公園球技場会議室にて、10月19日(日)開催。受講料無料(合格時に登録料が必要)。先着20名。10月14日締切。氏名、連絡先(携帯電話番号等)を明記の上、協会事務所へFAXまたは電話にて申込み。

【技術】指導者養成講習会

公認C級コーチ養成講習会

今年度最後

益城町総合体育館などで、11月16日から12月14日までの週末開催。定員最大40名。10月31日締切。

公認D級コーチ/キッズリーダー養成講習会

今年度最後

水前寺競技場にて、11月2日・3日開催。定員最大30名。10月24日締切。

各種講習会・大会についての最新情報は、
県サッカー協会ホームページをご覧ください。
<http://kumamoto-fa.com/>
<http://m.kumamoto-fa.com/> (携帯)



ユニ70 サッカーキッズ!
in KKWING

KKWINGで8人制ゲーム(要申込)や
サッカーアトラクション等、楽しい内容が盛り沢山です。
ぜひ奮って御参加下さい。

申込書は県協会ホームページからダウンロードできます。

其日 2008年11月22日(土)

11月3日締切 先着順 参加費 無料

Futsal フットサル



YMCA が優勝

県ジュニアユースフットサル選手権

第14回熊本県ジュニアユースフットサル選手権が12日、熊本県立体育館で行われた。決勝はYMCA U-15と初出場のサラ鏡の対戦となり、YMCAが9-2で優勝した。YMCAは10月18日から鹿児島県で行われる九州大会へ出場する。

試合結果

県ジュニアユースフットサル
準決勝

YMCA U15 12-2 エスペランサ
サラ鏡 7-2 FCK MASA

決勝

YMCA U15 9-2 サラ鏡

Senior シニア

ランザ熊本優勝

県シニアリーグ

平成20年度第17回熊本県シニアサッカーリーグは、全日程が終了。2部制の1部はランザ熊本セレクトサッカークラブが優勝。昨年度優勝の荒玉トシトラーズは準優勝となった。両チームは、12月に宮崎県で開催される九州大会へ出場する。

県シニアリーグ

1部

- 優勝：ランザ
- 準優勝：荒・玉
- 3位：南園E
- 4位：教員団A
- 5位：ルネサンス
- 6位：自衛隊
- 7位：ベアーズ
- 8位：県庁

※上位2チームが九州大会へ

2部

- 1位：八代
- 2位：網田
- 3位：小川
- 4位：南園A
- 5位：アデルカーズ
- 6位：宇土
- 7位：四十雀
- 8位：NTT

トピックス

理事会報告

平成20年度第1回理事会が9月17日、県サッカー協会会議室にて行われた。主な議題は以下の通り。

- ・「ねんりんピック」の開催意向調査について
- ・功労者表彰、祝賀会関係
- ・JFAアカデミー熊本宇城関係
- ・事務局からの報告・連絡
- ・九州国体の総括について
- ・基本構想推進計画ヒヤリングについて
- ・60周年記念誌編纂実行員会の設置について

フットボールセンター
建設本格化

JFAアカデミー熊本宇城の練習会場となる、「熊本宇城フットボールセンター」の安全祈願祭が宇城市の建設現場で8月25日、行われた。宇城市の阿曾田清市長ら地元関係者も出席。来春4月に迫ったJFAアカデミーの開校に向け、ハード面の整備が本格化した。

スポーツマネジャーズ
カレッジ開催

JFAスポーツマネジャーズカレッジの熊本県サテライト講座が、9月6日から益城町総合体育館を会場に開催された。

この講座は、「自立した魅力あるスポーツ組織づくりに必要な明確なビジョンを描く力」、「スポーツ組織の運営に必要なマネジメントの基本的な力」を身につけるために、スポーツ組織の運営に携わる方（協会スタッフ・クラブマネジャー等）を対象に、JFAが主催している。

これまで、熊本県協会から3名が「本

講座」に参加しており、全国で初めて開催される今回の「サテライト講座」には、20名を超える受講者が県内のみならず、県外からも参加。9月14日までの4日間で、8つのセッションが設けられ、JFAから派遣されたインストラクターが指導にあたった。

体協100円募金実施中



「ロアッソ熊本への募金、お願いします。」
KKWINGでのロアッソ熊本ホームゲームで、こんな呼びかけを聞かれた方も多いのではないだろうか。

県サッカー協会では（財）熊本県体育協会（体協）とともに、「100円募金」を実施している。今年度は各委員会の役員・加盟チーム等が順番で参加し、試合前の来場者に呼びかけている。

この募金は、県内のスポーツ振興に役立てることを目的として、体協加盟の競技団体がそれぞれ行っているもので、募金額に応じて競技団体に再び配分される。県サッカー協会では、これをロアッソ熊本支援のために役立てることにしている。

ホームゲーム開催時には、ぜひ募金へのご協力をお願いしたい。

韓国に行ったこと

FCビッグウェーブ 西村恭平

8月23日～25日の3日間、ぼくたちビッグウェーブは、韓国遠征に行きました。ぼくたちせんしゅもお母さんたちもホームステイをさせていただきました。

4年生のときに韓国に行った時は、遠征中に病気になって大好きなサッカーもあまりできず、ホームステイも1日しかできませんでした。だから今回はサッカーも精一杯して、ホームステイも楽しみたいと思って行きました。

韓国に着いたらさっそく会場に移動して、サッカーの試合をしました。韓国の人たちは、背が高く、フィジカルも強く、ぼくたちが日本でやるサッカーと少し違うなと思いました。

試合は3日間で6試合して思いっきり楽しむことができました。向こうのサッカー協会の人たちや、チームの人たちがか

高陽市協会を訪問



熊本県サッカー協会による、韓国・高陽（コヤン）市サッカー協会訪問が21日から25日まで行われ、井薫会長ほか役員とジュニアチームが交流を深めた。

韓国・高陽市サッカー協会との交流は2006年3月、熊本空港の国際線利用促進を図る「熊本空港国際線振興協議会」（当時）の働きかけや、韓国プロサッカーチームが熊本でキャンプを実施してきたことがきっかけとなり、スタートした。

熊本から韓国には2007年3月、「JFAキッズ年代エリートプログラム」の一環として、熊本県の小学生を高陽市に派遣（関連記事）。8月には、シニアチームが訪問し、交流試合等を実施。

韓国から熊本には、5月に役員訪問（関連記事）と、11月にシニア・キッズサッカーチームの訪問（関連記事）があった。

今回は、協会役員と、昨年11月にホームステイを受け入れた、「ビッグウェーブ」（益城町）の小学生らあわせて40名が訪問。この中には、2007年3月にキッズ年代エリートプログラムで韓国を訪問した、2名の選手も含まれている。

んげいしてくれて盛大なパーティもひらいてくれました。

ぼくがホームステイした家では、言葉はもちろん通じなかったけどいろんな方法で、気持ちを伝えようとしてくれました。ふん水や湖、ショッピングセンターにも連れていってくれました。ぼくたちを楽しませようとしてくれていることが分かってとてもうれしかったです。

もう一つうれしかった事があります。それは、去年ぼくの家で、ホームステイしたハン・ヨンミンと会えたことです。ヨンミンは日本語で手紙を書いてくれました。びっくりしたし、とてもうれしかったです。

あつというまの3日間だったけど、ぼくにとっては最高の思い出になりました。コーチからぼくたちが小学生の間に韓国の人たちが熊本に来るとい話を聞きました。その時はぜひ会いたいし、大かんげいで迎えたいと思います。

23日からは、ビッグウェーブの小学生と「ジャン・インソクサッカースクール」を中心とした、地元小学生との交流試合とホームステイのプログラムを実施。

イム会長をはじめとする高陽市協会の役員の方々は、空港への出迎えに始まり、ホームステイ家族との懇親会に加え、仁川空港からの出発の際にも、見送りにお越しいただき、全ての日程で訪問を歓迎していただいた。

また、サッカースクールのコーチをつとめるジャン監督には、ホームステイ受け入れの調整等で大変お世話になった。

子どもたちにとっても貴重な経験になったであろう。

審判・インストラクター
合同研修会開催

「平成20年度 熊本県サッカー2級審判員・インストラクター合同研修会」が8月30日・31日の両日、大津町で行われた。JFAサッカー審判1級インストラクターの山口茂久氏を講師に、県内の審判員・インストラクターが参加。

競技規則の改正についてのレクチャーや、ルールテスト、審判員は体力テストなどがあり、NHK杯県サッカー選手権決勝を用いた観戦研修も行われた。

トレセンC研修会
スタート

2級審判員を目指す3級審判員を対象とした「トレセンC研修会」が7月16日、熊本農業高校でスタート。九州各県で行われているこの研修会に、県内では6名が参加。年間を通して実技研修等が行われ、来春の昇級試験合格を目指す。

試合結果・ニュースの送り先
メール
fukuda@kumamoto-fa.com
FAX
050-3588-6865
※試合結果は当日午後7時まで
※お問い合わせ先 096-5285-8636 (福田)